



エバーゴル®ワイド 箱粒剤

箱処理で、 稲を守る 力強い守護者

- 紋枯病防除剤エバーゴル®(有効成分)配合!
- 稲の主要病害虫に優れた効果と残効性を発揮
- いもち病防除の定番ルーチン®(有効成分)配合
- は種時から田植え当日まで使用可能



慣行播種
箱当り
50g

高密度播種
箱当り: 50~100g
(1kg/10aまで)



製品情報の詳細は
こちらから



紋枯病防除剤エバーゴル® (有効成分ペンフルフェン) 配合!

エバーゴル® ワイド 箱粒剤

農林水産省登録 第23459号

●成	分: イミダクロプリド …… 2.0%	殺虫剤分類 4A
	クロラントラニプロール …… 0.75%	殺虫剤分類 2B
	イソチアニル …… 2.0%	殺菌剤分類 P3
	ペンフルフェン …… 2.0%	殺菌剤分類 7
●性	状: 類白色細粒	
●毒	性: 普通物 (毒劇物に該当しないものを指している通称)	

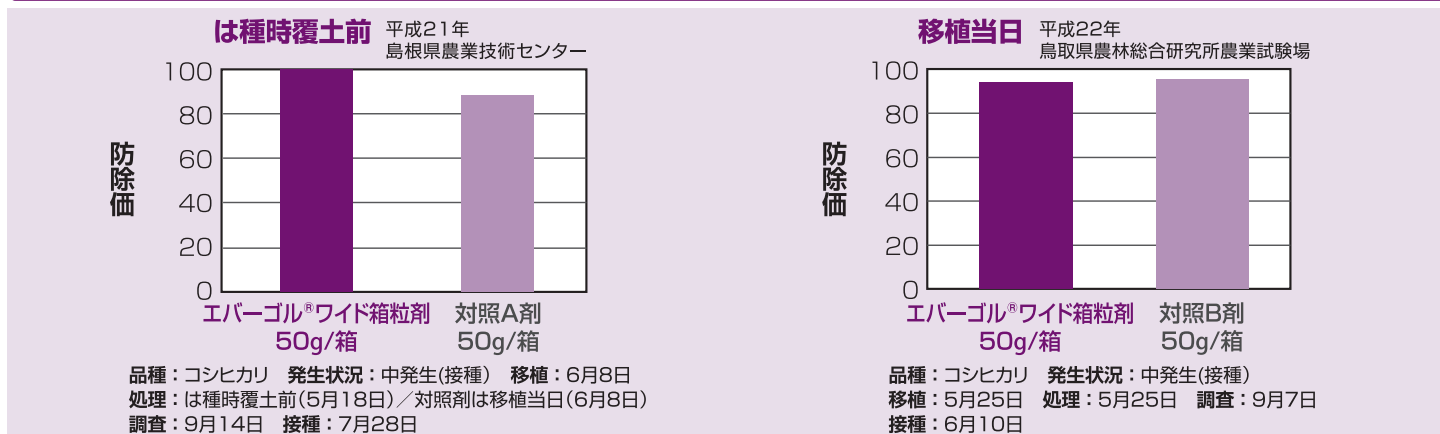
適用病害虫および使用方法

2021年10月現在の登録内容

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	使用回数*	使用方法
稲 (箱育苗)	穂枯れ(ごま葉枯病菌) 白葉枯病、内穎褐変病	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g	は種時(覆土前) ～移植当日	本剤：1回 イミダクロプリド：3回 (移植時までの処理は1回、 本田での散布は2回)	育苗箱の上 から均一に 散布する
	疑似紋枯症(褐色紋枯病菌) 疑似紋枯症(赤色菌核病菌) 疑似紋枯症(褐色菌核病菌) もみ枯細菌病		移植当日		
	イネドロオウムシ イネミスゾウムシ、ウンカ類 ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ コブノメイガ、イネツトムシ フタオビコヤガ、いもち病 紋枯病		は種時(覆土前) ～移植当日		
	穂枯れ(ごま葉枯病菌) 白葉枯病、内穎褐変病	高密度には種する 場合は 1kg/10a(育苗箱 (30×60×3 cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り50～100g)	は種前	クロラントラニプロール：1回	育苗箱の床土または 覆土に均一に 混和する
	疑似紋枯症(褐色紋枯病菌) 疑似紋枯症(赤色菌核病菌) 疑似紋枯症(褐色菌核病菌) もみ枯細菌病		移植3日前 ～移植当日	イソチアニル：3回 (移植時までの処理は1回、 本田では2回)	育苗箱の上 から均一に 散布する
			移植当日	ペンフルフェン：1回	

*印は収穫物への残留回避のため、本剤およびそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

紋枯病に対する防除効果



注意事項

- 本剤を床土または覆土に混和処理する場合、処理後速やかに使用して下さい。また本剤を処理した床土または覆土を放置しないで下さい。
 - 育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ)1箱当りに乾粉として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整して下さい。
 - 極端な低温での育苗条件では生育抑制を生じるおそれがあるので、温度管理に注意して下さい。
 - 梅雨明け後の高温時の晩期栽培では、は種前およびは種時の処理により薬害が生じるおそれがあるので、これらの時期での使用をさせて下さい。
 - 軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗などには薬害を生じるおそれがあるので注意して下さい。
 - 本田の整地が不均整な場合は、薬害を生じやすいので、代かきは丁寧に行い、移植後田面が露出しないように注意して下さい。
 - いぐさ栽培予定水田では使用しないで下さい。また、本剤を処理した稲苗を移植した水田ではいぐさを栽培しないで下さい。
 - さく等の他作物に影響を及ぼす場合があるので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように散布して下さい。また、土壌全面に不透水性無孔シートを敷くなど、薬剤処理後の灌水による土壌への浸透をさせて下さい。
 - 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
 - 誤食などのないよう注意して下さい。
 - かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意して下さい。
 - 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、本剤を使用した苗は養魚田に移植しないで下さい。
 - 水産動植物(魚類、甲殻類)に影響を及ぼすので、移植後は河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意して下さい。
 - 散布器具および容器の洗浄水は河川等に流さないで下さい。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理して下さい。
 - 直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管して下さい。
- ★播種同時施肥機や田植同時施肥機で使用する場合は、農機販売会社に本剤の使用に関して確認をして下さい。また、散布量の調整を実施したうえで使用して下さい。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

バイエル クロップサイエンス株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262 <https://crops.cscience.bayer.jp/>

お客様相談室 ☎0120-575-078 9:00～12:00, 13:00～17:00
土日祝日および会社休日を除く

F-2074 21.10.NY